

く教育の本質は何か！
『志国』高知で不易流行を考える



変えていくもの
変えてはいけないもの

明日の日本の教育を考える 「教育シンポジウム高知」

平成30年11月24日（土）9:00～12:10 高知会館2階【白鳳】

〒780-0870 高知市本町5-6-42

コーディネーター

野原 明 氏 日本教育文化研究所所長

パネリスト

高橋 史朗 氏 麗澤大学大学院特任教授

山口 香 氏 筑波大学体育系教授・教育再生実行会議委員

ソウルオリンピック（柔道女子52kg以下級）銅メダリスト

松井 成一 氏 中土佐町立大野見中学校校長



主催：日本教育文化研究所 主管：高知県管理職教職員団体連合会
高知県教職員団体連合会

教育シンポジウム高知の開催趣旨

2018年は「明治維新」から150年の節目の年に当たる。今回の開催地である高知県は、幕末から明治維新にかけて、坂本龍馬をはじめ、新しい時代を切り拓くために高い志をもち活躍した多くの偉人を輩出した県である。今回、四国（“志国”）、高知県において開催する本シンポジウムでは、教育の「不易流行」を考える。

「万物は流転する（ヘラクレイトス）」、「諸行無常（釈迦）」等、先哲の名言が示すように、私たちが生きている社会は刻々と変化を続けるものである。現在、AIをはじめとする第四次産業革命の進展は、労働環境はもとより社会の在り方を根本的に変えるSociety5.0を実現していくとも言われている。現在ある多くの職業がAIやロボットに取って代わられていくとの予想もあり、変化は今後ますます加速していくだろう。このように刻々と変化する新しい時代に対応すべく、新学習指導要領には「小学校英語」や「プログラミング教育」等が取り入れられた。明治維新から150年目の節目の年である今、これまでにない社会状況・教育環境の変化の中で子供たちは学び、成長していくことになるのである。

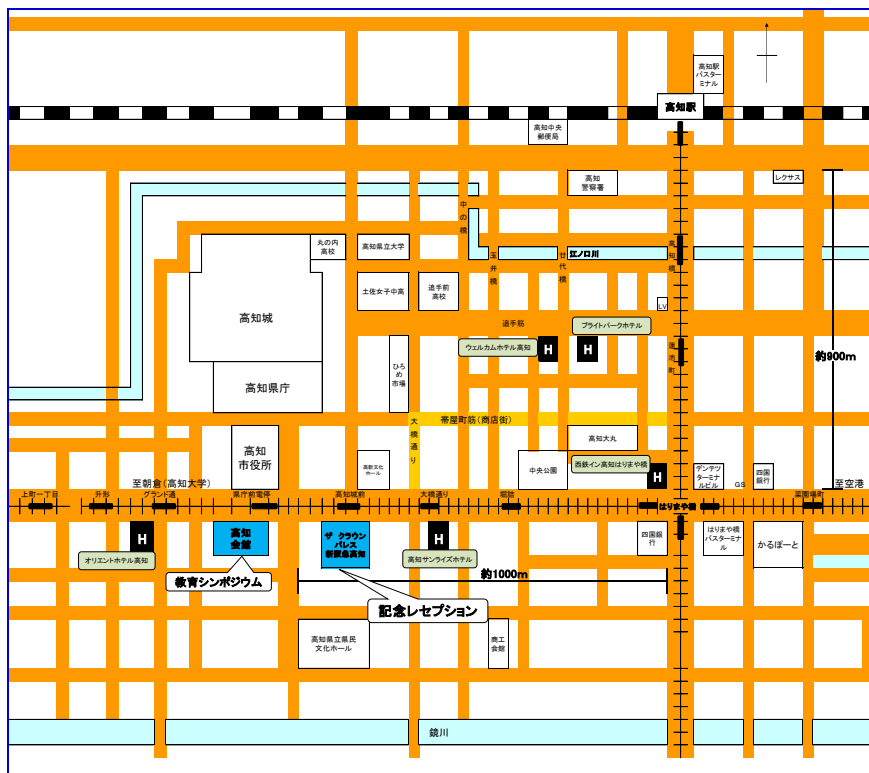
かつて松尾芭蕉は「不易を知らざれば基立ちがたく、流行を知らざれば風新たならず」と言葉を残している。我が国の教育がこれまで蓄積してきた「不易」という基盤の上でこそ、英語教育の充実やプログラミング教育の導入という「流行」が新たな時代を創造するのである。新学習指導要領の完全実施に向けて準備が進められている現在、改めて、教育の基盤となる「不易」とは何なのか見つめ直す必要があるのではないだろうか。

今を生きる子供たちが激変する社会の中で翻弄されることなく、「志」をもって新しい時代を切り拓き、たくましく生きていくために、教育の本質とは何なのかを「不易流行」という視点から、パネリストに議論していただき、参加者とともに考えたい。

後援団体(順不同)

文 部 科 学 省
高 知 県 教 育 委 員 会
高 知 市 教 育 委 員 会
一 般 社 団 法 人 全 国 教 育 問 題 協 議 会
一 般 社 団 法 人 全 国 高 等 学 校 行 連 合 会
全 国 国 立 幼 稚 園 ・ こ だ も 園 長 会
全 国 連 合 小 学 校 長 会
全 日 本 中 学 校 長 会
全 国 高 等 学 校 長 協 会
全 国 教 育 管 理 職 員 団 体 協 議 会
日 本 私 立 中 学 高 等 学 校 連 合 会
日 本 教 育 協 会
公 益 社 団 法 人 日 本 教 育 会
株 式 会 社 日 本 教 育 新 聞 社
K U T V テ レ ビ 高 知
K S S さ ん さ ん テ レ ビ
株 式 会 社 エ フ エ ム 高 知

高知会館・ザ クラウンパレス新阪急高知 案内図



お問い合わせ先

日本教育文化研究所 〒102-0083 東京都千代田区麹町3丁目7番地 半蔵門村山ビル
TEL: 03-3262-1859 FAX: 03-3264-3829 E-mail: kyoubun@ntfj.net